

1998年サン・セバスチャン国際映画祭審査員賞受賞

監督、脚本、編集、美術○アボルファズル・ジャリリ (『かさぶた』『7本のキャンドル』)

撮影○ファルザッド・ジョダット

出演○ファルハード・バハルマンド、バフティアル・バハルマンド、ファルザネー・ハリリ

DON/1998年/イラン/カラー/スタンダード/90分 配給: ビターズ・エンド

財団法人 日本ユニセフ協会 推薦



ほくけ 歩いてかく



アボルファズル・ジャリリ監督作品



仕事をください
一生けんめい
がんばるから
身分証をください
せいいっぱい
生きているから

ぼくは歩いてゆく

人生の物語です。一人の少年の物語です。——アボルファズル・ジャリリ
真実である、でも現実ではない物語です。

ぼくは歩く。未来をつかむために。

9歳の少年ファルハード。両親が出生届けを出さなかったため、戸籍も身分証も持っていない。だから、学校に通うこともできず、働き口を見つけても断られてばかり。それでも家計を助けるため働かなくてはならない。ファルハードは仕事を求めて街中を歩き回る。身分証を取るため、たった一人で役所へと向かう。ちゃんとした仕事を手に入れることができる日を、そしていつか学校で勉強できる日を夢見て。ファルハードは決してへこたれない。自分なりの方法で、目的へと向かって進んでゆく。走ることなく、ゆっくりと、急いで、歩いてゆく。彼の瞳は、前を、未来を見据えて輝いている。観る者は、いつの間にかファルハードの生き方を応援し、そして彼の生き抜いていこうとする“強さ”に励まされるのである。



◆ 原題の“DON-ダンナー”という言葉は、“知れなさい”（知るの命令形）という意味である。このタイトルは「全ての人間関係は、まず自分自身を、そして相手を知り理解することから始まる」というジャリリの考えから生まれた。



◆ 少年の名前である「ファルハード」は、映画のためにつけられたものである。ジャリリは、イランの古い詩の中から「犠牲」という意味のその言葉を選び出した。この名前は、まさに少年の行動そのものを示している。

少年との出会いから生まれた奇跡の物語

ある日、ジャリリは板金工場で働く少年の瞳に目を奪われる。声をかけ、話を聞くと、彼にはちゃんとした名前も戸籍もないと言う。この少年が、主役のファルハードである。二人の運命的な出会いから本作『ぼくは歩いてゆく』が生まれた。

「子供たちを救うために映画を撮り続ける」と語るジャリリは、この少年のバックグラウンドを作品のテーマとして選び、脚本を仕上げ、撮影へと挑んだ。

ジャリリは、少年と同じ目線に立ち、少年の表情、眼差し、言葉、日常に沸き起こる喜びや悲しみ、そして痛みまでもフィルムに刻んでいく。そこにすくいとられた少年の姿には、“生の輝き”、生きていくことの素晴らしさが溢れている。



人生を動かす一本の映画の力

映画はファルハード少年の体験に基づいている。少年は自分の人生を演じることで、さらに新たな体験をしていく。そのことによって映画の中で少年は生き、その少年によって映画は命を吹き込まれる。

映画出演が、後に少年の人生に大きな影響を与える。ジャリリの尽力で、撮影終了後、少年は今まで手に入れることのできなかった戸籍と身分証を取得する。また、数ある名前の中から「ファルハード」を選び、正式な名前として登録する。そしてついに、念願の学校へも通い、文字を読み書きできるようになったのである。

財団法人 日本ユニセフ協会 推薦
1998年サン・セバスチャン国際映画祭 審査員賞受賞

監督、脚本、編集、美術：アボルファズル・ジャリリ 撮影：ファルザッド・ジョダット 録音：ハッサン・ザルファム 出演：ファルハード・バルハムド、バフティアル・バルハムド、ファルザネー・ハリリ
DON/21/1998年/イラン/カラー/スタンダード/90分 配給：ビターズ・エンド <http://www.bitters.co.jp/>

KAVCキネマVOL.73

「ぼくは歩いてゆく」

公開記念夏休みイラン映画特集

8/19(土)~25(金) (22・火 休映)

連日16:30/18:15

21(月)~25(金)は14:45の回あります。

☆特別鑑賞券☆

1400円

好評発売中！

(当日一般1700円 当日学生1400円の処)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

前売券はKAVC窓口、チケットぴあ、三宮各プレイガイドにて好評発売中！

◇「運動靴と赤い金魚」日本語吹替版
8/19,20・13:00~

◇「バダック」8/19,20・14:45~
当日一般 1400円 当日学生 1200円

●以上2作品は「ぼくは歩いてゆく」前売券提示で
当日1000円で鑑賞いただけます。

神戸アートビレッジセンター
078-512-5500

神戸高速「新開地」より徒歩3分、J「神戸」より徒歩10分
<http://kavc.or.jp>